

# 沼沢湖におけるアユ再生産の可能性

福島県内水面水産試験場 調査部

## 1 部門名

水産業－内水面（増養殖）－アユ

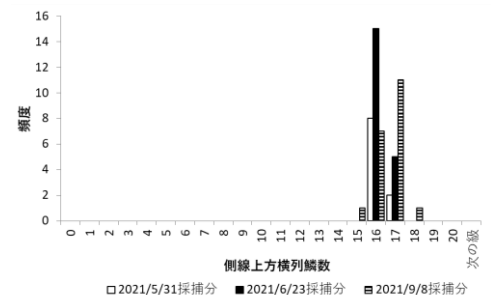
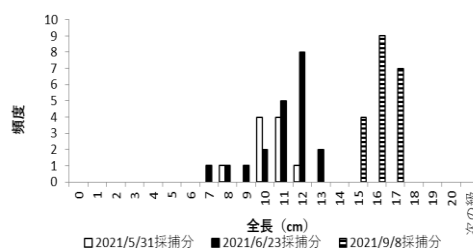
## 2 担当者名

中久保 泰起

## 3 要旨

福島県内唯一のヒメマスの子息地である金山町の沼沢湖において、本来生息していないアユが、2020年6月に確認された。沼沢湖では東北電力第二沼沢発電所が揚水式発電を行っているため、アユが只見川から迷入したものが沼沢湖で再生産したものが判然としなかった。そこで、2021年にかけてアユの子息を追跡調査したところ、沼沢湖流入河川である前ノ沢で孵化し、湖内で成長した可能性が示された。

- (1) 2020年10月2日に前ノ沢において、遡上したアユが100尾程度目視確認され、アユ産着卵も確認された。
- (2) 2021年5月31日にも沼沢湖でアユが10尾程度採捕されたが、この時まで只見川水系を漁場とする野尻川非出資漁業協同組合及び南会津西部非出資漁業協同組合では2021年度分のアユ放流を実施していなかった(図1)。
- (3) その後、2021年6月23日に沼沢湖で20尾のアユを採捕し、9月8日に前ノ沢で約200尾のアユの遡上を目視確認(うち20尾を採捕)し、また産着卵も確認した(図1)。
- (4) 5月、6月、9月に採捕したアユの側線上方横列鱗数は15~18の範囲だった(図2)。
- (5) (1)~(3)から、前ノ沢で孵化したアユが沼沢湖で成長し、再び前ノ沢に遡上し産卵をした可能性が示された。
- (6) 沼沢湖産アユの活用方法の検討及び、ヒメマス資源への影響調査を行う必要がある。



## 4 成果を得た課題名

図1 採捕されたアユの全長組成

- (1) 研究期間 令和3年度~令和7年度
- (2) 研究課題名 内水面重要水産資源の増殖手法の開発

図2 採捕されたアユの側線上方横列鱗数\*組成

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 特になし